

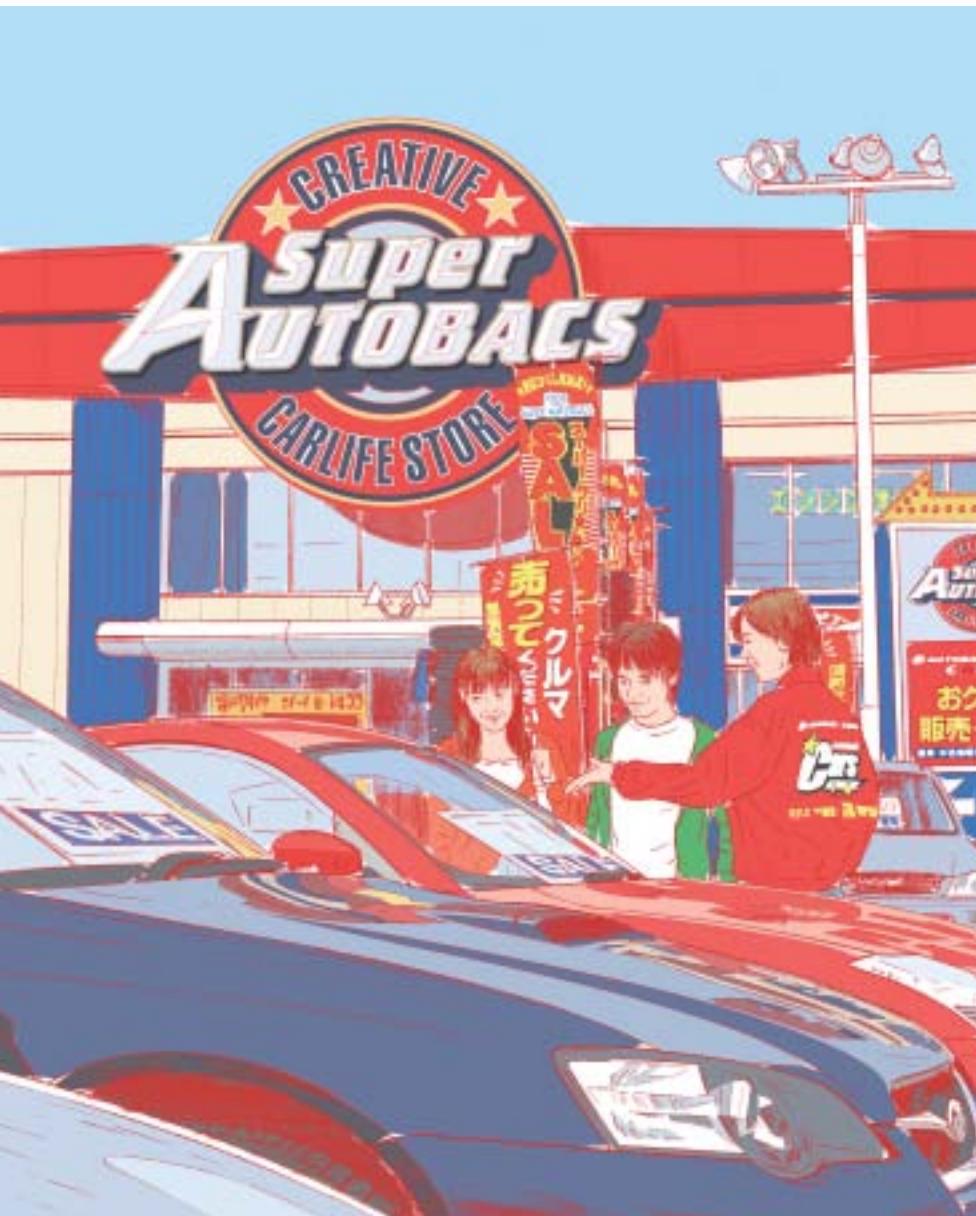
衝撃～しょうげき～

Show Get-key

第62期 第3四半期 事業報告書 2008年10月1日から2008年12月31日まで

オートバックスセブン
株主通信

Vol. 26



TOPメッセージ————— 1

特集

中期経営計画————— 3

ニュースリリース————— 5

オートバックスグループ

新店紹介————— 6

知ってトクするクルマネタ

愛車がピカピカ

HOW TO 洗車————— 7

オートバックスグループ

商品紹介————— 9

財務報告————— 11

店舗情報————— 12

会社情報————— 13

株式情報————— 14

TOPメッセージ

**中期経営計画の推進に
全社一丸となって取り組み、
中長期的な企業価値の最大化に
努めてまいります。**



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここにオートボックスセブン株主通信「Show Get-key」Vol.26をお届けします。

2009年3月期第3四半期の業績報告

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、秋口までのガソリン価格の高騰や、世界経済の失速の影響による消費の低迷、新車販売台数の更なる減少など、自動車関連消費は厳しいものとなりました。また自動車ディーラーを中心とした異業種各社がサービス事業の強化をより一層推進するなど、競争環境も激しさを増しました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前年同期比1.3%減少の2,097億6600万円となりました。卸売部門では、今期販売に注力してい

るタイヤ・ホイール、単価が上昇したオイル・バッテリー、さらに自動車、燃料などの売上が増加したものの、カーエレクトロニクスやカースポーツ用品などの売上減少を補えず、前年同期比1.8%減少となりました。小売部門では、米国店舗において景気減速の影響があったものの、海外全般では店舗増加に伴い売上が増加しました。一方、国内店舗においては、タイヤ・ホイール、オイル・バッテリー、車検・整備を含むサービスの売上が増加したものの、カーエレクトロニクスやカースポーツ用品を中心に売上が不振であったことなどにより、小売部門全体では前年同期比0.4%減少となりました。売上総利益は、高粗利率である自動車部品の構成比が高い海外子会社において売上が増加したことにより小売部門の粗利率は上昇しましたが、国内における消費節約志向と自動車の小型化などの影響により、カー用品全般、サービス、自動車販売において粗利率が低下しました。全体の売上総利益率はほぼ昨年度と同じでしたが、売上の減少に伴

い前年同期比1.2%減少の640億68百万円となりました。販売費及び一般管理費は、経費の削減に努めましたが、国内外の店舗増加に伴う全体的な経費の増加、タイヤ販売における広告宣伝費、昨年度から導入を開始したPOSシステム関連費用の増加などにより前年同期比2.5%増加の579億49百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比26.2%減少の61億18百万円となりました。経常利益は、営業外費用として為替差損を18億74百万円、投資有価証券評価損を11億46百万円計上したことなどにより、前年同期比25.5%減少の71億9百万円となりました。特別損益につきましては、フランチャイジーに対する建物等のリース取引に関わる会計基準の変更による特別利益46億51百万円や、「中期経営計画」に沿った資産圧縮の実施による英国Halfords Group plcを含む株式の売却に伴う投資有価証券売却損22億8百万円、投資有価証券評価損17億71百万円を特別損失として計上しました。また、米国事業の撤退に伴う事業再構築費用45億65百万円を計上しました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比72.4%減少の11億3百万円となりました。

業績予想の修正及び特別損失の発生について

当社グループの事業活動は、厳しい事業環境ではありましたが、全社的なコスト削減に努めたことにより、2008年11月7日に発表しました業績予想修正の内容にほぼ沿った形で推移しております。しかし、上記業績報告にもございますとおり2009年3月期第3四半期累計期間に計上した特別損失などから、従来の業績予想に最新の営業動向を加味した結果、連結売上高2,599億円、営業利益33億円、経常利益40億円及び当期純利益△12億円と予想を修正いたしました。

決算ハイライト

単位:百万円

	第61期 第3四半期 (自2007年4月1日 至2007年12月31日)	第62期 第3四半期 (自2008年4月1日 至2008年12月31日)	増減率(%)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
売上高	212,444	209,766	-1.3	266,429
卸売部門	119,737	117,568	-1.8	145,072
小売部門	89,565	89,239	-0.4	117,182
その他	3,141	2,958	-5.8	4,174
経常利益	9,547	7,109	-25.5	6,062
四半期(当期)純利益	3,992	1,103	-72.4	1,467
純資産	168,362	159,626	-5.2	165,205
総資産	267,749	253,873	-5.2	234,126

中期経営計画の進捗について

当社グループでは昨年5月に経営効率の向上とコーポレート・ガバナンスの強化を目指した中期経営計画を策定し、これに沿った施策を実行しております。

今号の3ページから4ページにかけて、中期経営計画の現在までの進捗を特集しておりますのでご覧下さい。

感謝の言葉

当株主通信の巻末において毎号実施しているプレゼントにご応募いただきました際に株主の皆様から数々のご意見を頂きました。誠にありがとうございます。皆様のご意見は毎回必ず拝見させていただいており、株主様からの貴重な声として今後の経営に活かしてまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年2月

代表取締役 社長執行役員

湧田節夫

特集

中期経営計画

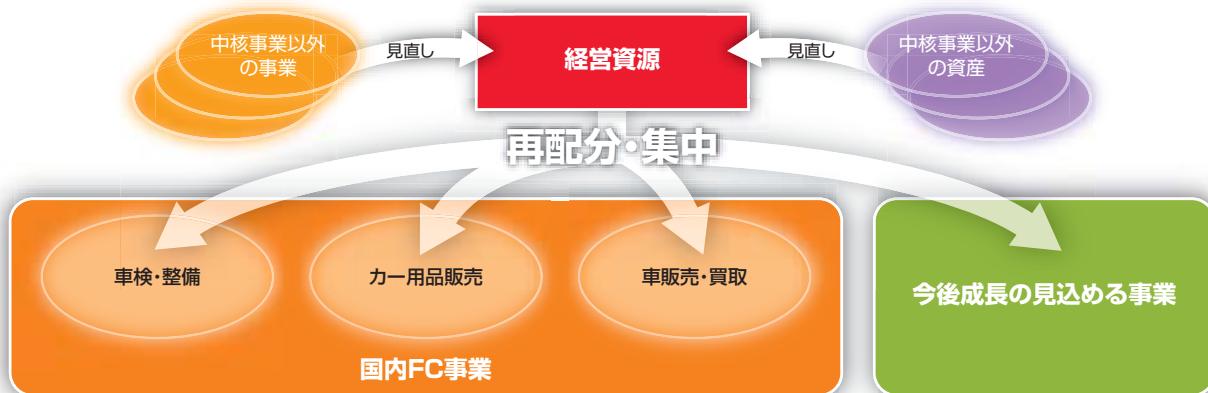
当社は昨年5月に発表した「オートバックスBIGプラン」をベースに中期経営計画を策定し、企業価値最大化のための施策を実行しています。本特集では現在までの進捗をご報告いたします。

中期経営計画を策定した経緯と目的

当社の中核事業は、国内においてオートバックスフランチャイズチェーンに加盟する店舗にカー用品を販売する卸売事業と、子会社を含めた当社が経営する店舗においてカー用品販売・サービスを提供する小売事業です。これに加えて、グループの成長のために車検・整備、車販売・買取、燃料販売、二輪用品販売などの商品・サービスのラインアップを広げるとともに、地域としても日本以外にアジア、フランス、米国に事業を拡大してきました。

しかし、ここ数年の急速な事業拡大が結果的に収益性低下による経営効率の悪化を招いたことを踏まえ、当社の基本的な方針を規模拡大路線から収益性重視に転換しました。すなわち、分散した経営資源を我々が強みを持つ国内フランチャイズ事業及び今後成長の見込める事業に再配分することによって、経営効率を高め、企業価値向上を目指しています。あわせて、経営体制の再構築など、企業統治(コーポレート・ガバナンス)の強化にも積極的に取り組んでいます。

事業と資産の見直しのイメージ図



具体的な取組み内容 (2009年2月6日現在)

1. 事業ポートフォリオの見直し

- 拡大した事業一つ一つを見直し、収益性が低いもの、当社の強みが生かせないものなどについては、撤退することとしました。

発表日	項目	内容
2008年12月25日	「ライコランド」フランチャイズチェーン本部事業譲渡	二輪用品販売店のフランチャイズ本部事業を譲渡
2008年12月25日	株式会社ダイヤ・ボックスの解散及び清算	三菱商事石油株式会社との合併解消
2009年1月30日	株式会社カーズ札幌の解散及び清算	北海道における中古車販売・買取を行う会社の解散及び清算*
2009年2月5日	米国会社2社倒産手続適用申請	米国カー用品販売事業からの撤退

*全国(北海道含む)オートボックスグループ店舗における中古車販売・買取は従来どおり行っています。

2. 組織の筋肉質化、効率化

- 構造的なコスト削減や資産の効率化

発表日	項目	狙い
2008年5月15日	増配と自社株買いの実施(778,500株)	積極的な株主還元を実施(取得終了のお知らせは6月20日)
2008年9月25日	株式会社カーライフ総合研究所、株式会社オートボックスSDの清算	単体と子会社で重複していた業務を見直し、コスト削減を行う
2009年1月6日	コア事業とは関連性の低い投資有価証券などを売却	資産圧縮を図り、資本効率を向上させる

3. コーポレート・ガバナンスに関わる事項

- 2008年6月に社外取締役2名と社外監査役1名を増員し、取締役会の監督機能を強化しました。
(取締役9名のうち社外取締役4名、監査役5名のうち社外監査役3名 2009年2月6日現在)
- 社外取締役を中心とするガバナンス委員会を設置し、コーポレート・ガバナンスの継続的な改善・強化に取り組んでいます。

なお、上記のような施策を実施する過程で、2009年3月期に一時的な費用として事業再構築費用や有価証券評価損・売却損を第3四半期時点で計上しています(詳細は2ページをご参照ください)。

今後も中期経営計画に沿った上記のような施策を実施するとともに、来年度以降は、中核事業の国内フランチャイズ事業における収益性の向上施策に注力してまいります。この経過についても、随時株主通信にてご報告いたします。

ニュースリリース

10月

- ・「ヴァンテージ&モビル1 ガソリンプレゼントキャンペーン」実施～抽選で100名様に50,000円分のガソリン代プレゼント～
- ・2009年オートボックスオリジナルイラストカレンダーオープンプレゼント～100名様にプレゼント～
- ・「オートボックス魚津店(富山県魚津市)」改装新築オープン
～富山県内オートボックスグループ店舗12店舗～
- ・業績予想の修正及び特別損益の発生に関するお知らせ
- ・「オートボックスふくさき店(兵庫県神崎郡)」改装新築オープン
～兵庫県内オートボックスグループ店舗36店舗～
- ・11月1日よりプライベートブランドバッテリー「ダイナグリッド」42アイテムを全店一斉値下げ

11月

- ・業績予想の修正に関するお知らせ
- ・山梨県内オートボックスグループ店舗4店舗
「オートボックスー宮御坂(山梨県笛吹市)」新規オープン～タイヤ・オイル・バッテリーなどのメンテナンス商品の品揃強化～
- ・オートボックスプライベートブランドスピーカー「Protone(プロトーン)トレードインスピーカー」新発売～品質を維持しながらも手軽に交換できる価格設定～
- ・フランス国内におけるフランチャイズ5号店出店 AUTOBACS VILLEBON オープン
フランス国内における12店舗目の出店
- ・人事異動のお知らせ

12月

- ・プライベートブランドタイヤ誕生30周年記念「12ヶ月連続タイヤでアタルキャンペーン」第4弾～抽選で毎月100名様に10,000円分のJTBギフト券をプレゼント～
- ・「ライコランド」フランチャイズチェーン本部事業譲渡に関するお知らせ
- ・子会社の解散及び清算に関するお知らせ

10 OCT 11月1日よりプライベートブランドバッテリー「ダイナグリッド」42アイテムを全店一斉値下げ

当社は11月1日(土)よりプライベートブランド車載用バッテリー“ダイナグリッドシリーズ”42アイテムをオートボックスグループ全店にて一斉に値下げいたしました。

一番の売れ筋サイズを1,000円値下げするほか、その他のサイズも一律300円値下げしました(今回の値下げは国産車向けバッテリーのみを対象としています)。

このたびの値下げは、昨今の原材料の価格高騰による物価上昇、景気に対する先行き不安で急速に高まっているお客様への節約志向におこたえするため実施したものです。

車載用バッテリーは、原材料の高騰にともない2007年10月より一斉に値上げされました。その影響もあり「バッテリーがあがるまで交換せずに使い続ける」というドライバーが増え、JAFのデータでは2008年のゴールデンウィークとお盆期間中ともにバッテリーのトラブルが一般道路における救護原因の35%以上を占めています。

その様な状況の下、当グループは、お客様への生活応援の観点から、当グループ店舗にて一番の売れ筋サイズを中心に一斉値下げすることとしました。少しでもお客様の負担を軽減し、安心して快適なカーライフを楽しんでいただきたいと考えています。

12 DEC 「ライコランド」フランチャイズチェーン本部事業譲渡に関するお知らせ

当社は、FC加盟店6店舗、直営店2店舗(2008年12月25日現在)からなる二輪用品専門店「ライコランド」フランチャイズチェーンを運営しておりましたが、このフランチャイズチェーン本部事業を株式会社コシダテックに譲渡することを2008年12月25日に決定しました。この度の事業譲渡は、当社が取り組んでいる中期経営計画において「オートボックスFC事業の強化」の一環として、二輪用品専門店フランチャイズチェーン本部事業を譲渡し、カー用品、車検・整備、車販売・買取の3事業をコアとした「オートボックスFC事業」に経営資源を集中することで、当社グループの収益性の向上を図るものです。なお、当社の直営店舗である「ライコランド東雲店」と「ライコランド小牧店」は譲渡先のフランチャイズチェーンの一員として営業を続けてまいります。

ニュースリリースはこちら
<http://www.autobacs.co.jp/ja/news/news.php?id=1169>

12 子会社の解散 及び清算に 関するお知らせ

DEC

当社は、2008年12月25日に、ガソリンスタンド型店舗のフランチャイズ展開を行っていた当社の子会社、株式会社ダイヤ・ボックスを解散及び清算することを決定しました。

当社は、三菱商事石油株式会社との合併会社として2002年4月に株式会社ダイヤ・ボックスを設立し、カー用品店に燃料販売を付加した業態の確立及びフランチャイズチェーン展開を行うべく実験店舗の展開等を行ってまいりました。しかしながら、昨今の厳しい事業環境のなかで合併会社設立当初の目的を実現することは困難であると判断し、三菱商事石油株式会社との間で合併の解消を合意し、同社の臨時株主総会における解散決議後、解散及び清算することといたしました。

なお、現在当社の直営店及びオートバックスのフランチャイズチェーン加盟法人が運営するオートバックスエクスプレス6店舗は引き続き営業してまいります。

ニュースリリースはこちら

<http://www.autobacs.co.jp/ja/news/news.php?id=1170>

オートバックスグループ新店紹介

オートバックス 魚津店



「オートバックス魚津店」
改装新築オープン 2008年10月16日(木)
〒937-0041 富山県魚津市吉島1058
TEL: 0765-22-1919

オートバックス 一宮御坂



「オートバックス一宮御坂」
新規オープン 2008年11月19日(水)
〒405-0076 山梨県笛吹市一宮町竹原田1417
TEL: 0553-47-7755

オートバックス ふくさき店



「オートバックスふくさき店」
改装新築オープン 2008年11月11日(火)
〒679-2203 兵庫県神崎郡福崎町南田原2959
TEL: 0790-23-1677

店舗情報はこちら



<http://www.autobacs.com>

トップページより店舗検索ボタンをクリックし店舗を検索してください

知ってトクするクルマネタ

愛車がピカピカ HOW TO 洗車



暖かくなり洗車をするのに
ぴったりな春。
今回は愛車をピカピカにする
洗車の仕方をご紹介します。

春の汚れ～黄砂と花粉～

黄砂は、中国内陸部の砂漠地帯で巻き上げられた土や鉱物などの粒子が偏西風によって飛んでくるものです。日本での飛散量は4月が最も多く、駐停車中、走行中を問わず、車は汚れがちになってしまいます。

一方、花粉が愛車に与える影響も甚大です。花粉は受粉のために飛散するので、非常に粘着力が強く、ボディに付着すると取れにくく、塗装を傷める原因になる恐れがあります。さらに、花粉の粘着力でホコリや汚れもボディに付きやすくなってしまいます。

こうした春の汚れ対策としては“こまめに洗車する”のが一番です。

洗車の手順

1

カーシャンプー で水洗い

まずはボディにまんべんなく水をかけ、大きな汚れを流します。スポンジに水で薄めたカーシャンプーをたっぷりつけてルーフから洗います。洗車は上のほうから洗うのが基本で、ルーフ→ボンネット

ト→トランク→サイドの順番が良いとされています。

スポンジは洗車専用の柔らかいものを使いましょう。あまり強くこすらず、滑らすように使います。汚れの激しいところは、時間をおいて何度か洗いましょう。シャンプーが終わったら、強めの水圧で洗い流してください。

また、スポンジの動きは円を描くと汚れも一緒に動き塗装面を傷つける恐れがあるので、タテならタテ、ヨコならヨコの一方方向にスポンジを動かすと塗装面が傷つきにくくなります。



2

水分を拭き取る

水分の拭き取りも上から下に向かって作業します。ドアやトランクの隙間に水がたまっていることが多いので、一通り拭き終わったらドアを開け、残っている水滴を拭きましょう。エンブレムなどの細かな

場所は絞ったクロスで押さえるようにして水を吸わせませす。

また、拭き取りはキレイな雑巾で行うことも可能ですが、

すぐに水を吸って重くなってしまったり、一度吸った水がボディに戻ることもあります。水分拭き取り専用のクロスなら、給水力が高く、一度吸った水はボディに戻さないのにおすすめです。



3

ワックスをかける

シャンプーと同じように、一方方向に向かって塗ります。付属のスポンジでワックスを塗る場合、一度水を含ませ、固く絞ってから使しましょう。

最後に拭き取りですが、車全体にワックスを塗ってから、拭き取りをすると乾きムラができてしまうので、50cm四方を目安に塗ったらすぐ拭き取りましょう。これで愛車はピカピカです！



オートバックスグループ商品紹介

春のおすすめドライブグッズ

このコーナーではオートバックスグループの季節ごとのおすすめカー用品をご紹介します。

今号では花粉やホコリが気になる春におすすめのカー用品をご紹介します。

洗車

カーシャンプー

春は気候も暖かくなり、洗車をするには良いシーズンですが、黄砂や花粉など車が汚れやすい季節でもあります。洗車をする際、まずおすすめなのが最新のカーシャンプーです。色々な汚れを落としてくれるばかりか、細かな傷を補修してくれるものや簡単なワックスまで同時にできるものまであります。

コーティング車用のシャンプーもラインアップしています。



シュアラスター株式会社
カーシャンプー1000



株式会社ソフト99コーポレーション
激防水耐久シャンプー

ねんどクリーナー

カーシャンプーで洗っても落ちない鉄粉や目に見えないけどザラザラする微細な砂や鉄粉にはねんどクリーナーがおすすめです。粘土に鉄粉や砂をくっつけて取り除けばボディはツルツルに。



株式会社ソフト99コーポレーション
ねんど状クリーナーミニ

花粉専用エアコンフィルター

春になると花粉でつらい思いをされる方におすすめのエアコンフィルターです。

花粉だけではなく、微細なホコリもがっちり取る高集塵フィルターです。



AUTOBACS PRO 花粉専用エアコンフィルター(当社PB商品)

空気清浄機

最近の自動車用空気清浄機は、フィルター交換が不要などお手入れが簡単なものも販売されています。大きさもドリンクホルダーに収まるものなど場所をとりません。



株式会社セイワ
FS12 カーイオンクリーナー

グッズ

ワックス

シャンプーで愛車の汚れを取った後は、車を輝かせましょう。ワックスは「固形」「半ネリ」「コート剤」などの種類がありますが、塗りやすさや効果の持続性など特徴が異なります。この中でも「艶にこだわる」「撥水加工」「長持ち」「短時間でできる」などの目的に応じた特徴をうたっているものがあります。

オートバックス店舗では豊富に品揃えしておりますので、スタッフにお好み、目的をお伝えいただき、ご自分に一番合ったワックスをお選び下さい。



株式会社ウイルソン
ポリマーゴールド
(固形ワックス)



株式会社タイホーコーザイ
イオンコートエクセレント
(コート剤)

ウェットクロス

手軽に汚れを取りたい時などに、水を使わず、短時間にサッと拭くだけで汚れ落としができるものがウェットクロスです。最近では傷消し、ワックスがけ、防水効果などの効果が付加されたものが発売されています。車は綺麗にしたいけど、洗車やワックスがけは面倒という方にはおすすめの商品です。



株式会社ソフト99コーポレーション フクピカシリーズ

財務報告

連結貸借対照表

単位:百万円	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第62期 第3四半期 (2008年12月31日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	145,003	158,885	117,406
固定資産	122,745	94,987	116,719
有形固定資産	54,648	41,983	53,767
無形固定資産	16,168	14,150	16,425
投資その他の資産	51,928	38,853	46,526
資産合計	267,749	253,873	234,126
(負債の部)			
流動負債	72,962	67,030	43,570
固定負債	26,424	27,216	25,350
負債合計	99,387	94,246	68,921
(純資産の部)			
株主資本	167,744	159,264	165,217
評価・換算差額等	△285	△439	△882
少数株主持分	903	800	869
純資産合計	168,362	159,626	165,205
負債純資産合計	267,749	253,873	234,126

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	第61期 第3四半期 (自2007年4月1日 至2007年12月31日)	第62期 第3四半期 (自2008年4月1日 至2008年12月31日)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	2,791	△645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,841	3,094	△7,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	△414	△8,221	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△281	△221
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△11,346	△2,616	△9,589
現金及び現金同等物の期首残高	59,226	49,637	59,226
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	47,880	47,020	49,637

POINT 1

資産の部

当第3四半期末の総資産は前期末より197億46百万円増加しました。これは主に11月から1月にかけての冬商戦のための受取手形及び売掛金、棚卸資産などの増加によるものです。また、店舗でのクレジットカードの使用増加により未収入金などが増加しました。一方、中期経営計画に沿った、中核事業と関連性の低い資産の見直しの結果、有価証券・投資有価証券の売却損、評価損計上に伴い有価証券・投資有価証券が減少しました。

POINT 2

負債の部

当第3四半期末の負債は前期末より253億25百万円増加しました。これは主に冬商戦に向けた商品仕入れの増加に伴う支払手形及び買掛金などの増加によるもので、毎年の第3四半期に共通した動きと言えます。また、2月5日開示の米国子会社2社の倒産手続適用申請に伴い事業再構築引当金45億65百万円を計上しました。

POINT

営業活動によるキャッシュ・フローは主に、売上債権の増加270億72百万円、リース会計基準の適用に伴う影響額の計上46億51百万円がありました一方で、仕入債務の増加246億85百万円、減価償却費の計上46億2百万円、事業再構築引当金の増加45億53百万円等があり、27億91百万円の資金の獲得となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出43億29百万円がありました一方で、有価証券、投資有価証券の売却及び償還による収入69億88百万円等があり、30億94百万円の資金の獲得となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主に、配当金の支払額45億48百万円、自己株式の取得による支出24億55百万円等があり、82億21百万円の資金の支出となりました。

連結損益計算書

単位:百万円	第61期 第3四半期 (自2007年4月1日 至2007年12月31日)	第62期 第3四半期 (自2008年4月1日 至2008年12月31日)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
売上高	212,444	209,766	266,429
売上原価	147,627	145,697	183,577
売上総利益	64,816	64,068	82,852
販売費及び一般管理費	56,527	57,949	75,915
営業利益	8,289	6,118	6,936
営業外収益	4,802	6,314	6,221
営業外費用	3,544	5,324	7,096
経常利益	9,547	7,109	6,062
特別利益	17	5,234	186
特別損失	762	10,013	1,276
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,801	2,330	4,972
法人税、住民税及び事業税	4,810	2,052	5,222
法人税等調整額	△76	△825	△1,787
少数株主利益(△)・損失	△74	0	△70
四半期(当期)純利益	3,992	1,103	1,467

POINT 1

売上高

当第3四半期累計期間は、海外全般では店舗増加に伴い売上が増加したものの、国内において消費低迷の影響やカーエレクトロニクスやカースポーツ用品を中心に売れ筋商品の変化に伴う売上の不振などが影響し前年同期比26億78百万円減少の2,097億66百万円となりました。

POINT 2

営業利益

当第3四半期累計期間は、国内における消費節約志向と自動車の小型化などの影響による粗利率の低下、国内外の店舗増加に伴う全体的な経費の増加、タイヤ販売における広告宣伝費、昨年度から導入を開始したPOSシステム関連費用の増加などにより販管費が前年同期比14億22百万円増加した結果、前年同期比21億71百万円減少の61億18百万円となりました。

POINT 3

経常利益

当第3四半期累計期間は、営業外費用として為替差損を18億74百万円、投資有価証券評価損を11億46百万円計上したことなどにより、前年同期比24億38百万円減少の71億9百万円となりました。

POINT 4

四半期(当期)純利益

当第3四半期累計期間は、フランチャイジーに対する建物等のリース取引に関わる会計基準を変更したことにより特別利益46億51百万円を計上いたしました。一方、「中期経営計画」に沿った資産圧縮の実施により、英国 Halfords Group plc を含む株式の売却及び株価の下落に伴う投資有価証券売却損22億8百万円、投資有価証券評価損17億71百万円、米国の事業の撤退に伴う事業再構築費用45億65百万円を特別損失として計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比28億89百万円減少の11億3百万円となりました。

店舗情報

	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第62期 第3四半期 (2008年12月31日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	74	76	74
Type I	6	6	6
Type II	68	70	68
オートバックス	400	398	399
オートハローズ	11	9	10
オートバックス走り屋天国セコハン市場	31	31	31
オートバックスエクスプレス	8	8	9
ライコランド	6	8	8
海外	118	121	117
合計	648	651	648

商号

株式会社オートバックスセブン
(AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェーン展開しております。

主要な事業所

本社	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(宮城県仙台市)
関東エリア事業部	(千葉県市川市)
中部エリア事業部	(愛知県名古屋市)
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)
南日本エリア事業部	(福岡県福岡市)

役員一覧

取締役

代表取締役

湧田 節夫

取締役

経森 康弘

井手 秀博

中田 康雄^{※1}

宮内 英樹^{※1}

森本 弘徳

武田 健一

田村 達也^{※1}

服部 範雄^{※1}

監査役

野上 明 常勤監査役

森野孝太郎^{※2} 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介^{※2} 監査役

池永 朝昭^{※2} 監査役

執行役員

上席執行役員

湧田 節夫

経森 康弘

井手 秀博

森本 弘徳

エリア戦略担当執行役員

伊藤 浩明 北日本エリア事業部長

松村 晃行 関東エリア事業部長

戸出 譲 中部エリア事業部長

小林喜夫巳 関西エリア事業部長

加藤 哲也 南日本エリア事業部長

藤原 伸一 エリア戦略企画担当

商品戦略担当執行役員

住野 耕三 商品戦略企画担当 兼 力一用品事業担当
兼 商品開発部長

角倉 正親 車検整備事業担当

榎 宏介 C@RS事業担当 兼 C@RS事業推進部長

海外事業担当執行役員

江本 吉弘 海外事業担当

内部統制担当執行役員

小平 智志 内部統制担当

経営企画担当執行役員

吉山 弘樹 経営企画担当 兼 経営企画室長

戦略機能担当・経営管理担当執行役員

上西園英司 人事戦略担当 兼 総務担当

平田 功 IT戦略担当 兼 IT戦略推進部長

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

株式情報

2008年9月30日現在

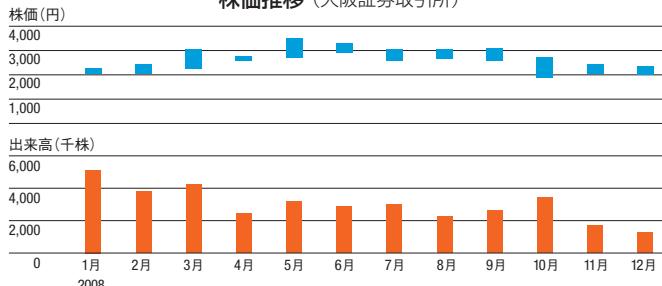
発行する株式の総数	109,402,300株	
発行済株式の総数	39,255,175株	
株主数	11,978名	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
	なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。	

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)

大株主一覧	有限会社スミノホールディングス いちごアセットトラスト ザ シルチエスター インターナショナル インバスターズ インターナショナル バリュー エクイティー トラスト 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウント アメリカン クライアント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) タム ツー ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リ्यूエスタックスエグゼンブテドベンションファンズ
-------	---

注) 1. 当社は自己株式1,799千株(所有割合4.58%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2008年9月30日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2008年9月30日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。

【ご参考】

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 優待券25枚
1,000株~ 優待券50枚
- 優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- 優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハローズおよびテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

“2009 AUTOBACS SUPER GTシリーズ開幕戦 OKAYAMA GT 300km RACE”の

観戦チケットを抽選でペア5組10名様にプレゼント!!

「SUPER GT」は「全日本GT選手権」として1994年に発足以来、年々人気が高まり、国内で最大の観客動員数を誇る人気No.1のレースとなりました。当社は大会冠スポンサーとして協賛し、モータースポーツの楽しさや感動を多くの方々伝えていきます。また、それを通じて自動車関連マーケット全体の活性化を目指しています。

この度、2009 AUTOBACS SUPER GTシリーズの開幕戦である「2009 AUTOBACS SUPER GTシリーズ OKAYAMA GT 300km RACE」にペアで5組10名様をご招待いたします。

応募要項

官製はがきに下記①～⑥を明記の上、宛先住所までご送付ください。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。(発送予定日:3月13日 ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはございません。)

①氏名 ②郵便番号/住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤今、一番当社に対して興味のあること(例:株価、業績、配当、中期経営計画など) ⑥その他ご要望など

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社オートバックスセブン

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

開催概要

大会名称: 2009 AUTOBACS SUPER GT シリーズ
OKAYAMA GT 300km RACE

開催会場: 岡山国際サーキット

開催日程: 2009年3月21日(土)予選、22日(日)決勝



宛先

〒135-8717

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント

オートバックスセブン 広報・IRグループ

「株主通信 GTチケットプレゼント」係

応募締め切り

2009年3月10日(当日消印有効)

お問い合わせ先

•IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画室 広報・IR・インフォグループ

電話:03-6219-8718 e-mail:investors@autobacs.com

•住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先

住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)

0120-176-417 (その他のご照会)

※詳細は14ページをご確認ください。